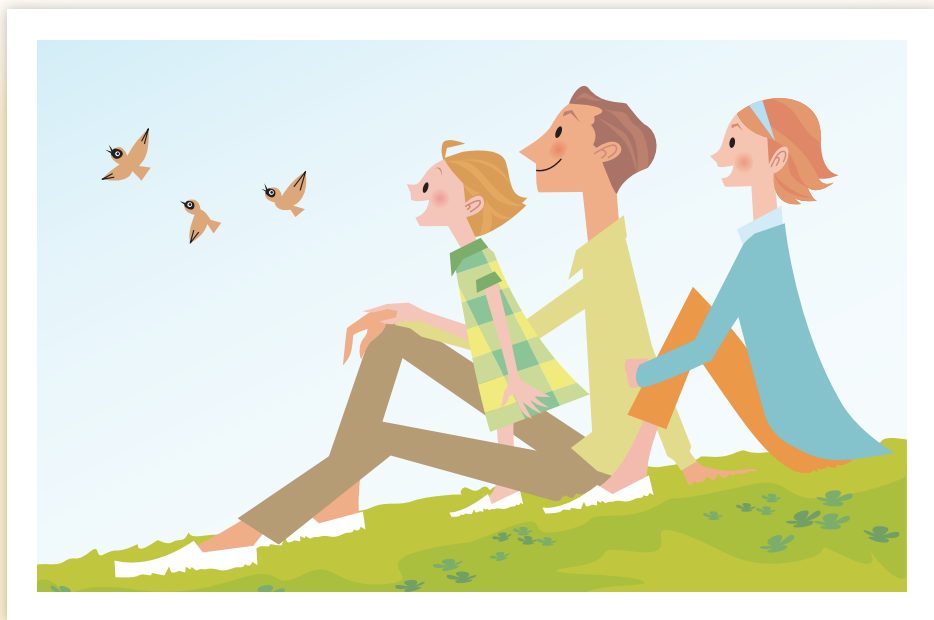


皆さまとおきぎんをつなぐ情報誌

沖縄銀行 ディスクローチャー誌

# おきぎん 2020 情報編 レポート

お客さまとともに未来を創る — Create the Future —



／みらいを／  
沖縄の元気に！

おきぎんグループは、沖縄の“みらい”を元気にします。

PEOPLE'S BANK

◎ 沖縄銀行

# PEOPLE'S BANK

県民に一番愛される銀行

## 頭取メッセージ

# お客さまとともに 沖縄の“みらい”を元気に

皆さまには、平素より私ども沖縄銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

当行は1956年の創立以来、「地域密着・地域貢献」という経営理念のもと、地域の中核金融機関として地域経済の発展とともに成長し、今日の基盤を築き上げてまいりました。これもひとえに地域の皆さまや株主の皆さまからの永年にわたる温かいご支援の賜と深く感謝申し上げます。

このたび、当行についてのご理解をより一層深めていただくために、ここに「おきぎんレポート2020」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

2019年度前半までの国内経済は、海外の政治・経済の不確実性の高まりに伴う先行きの不透明感が出ていたものの、大型連休や消費税増税前の駆け込み需要などにより、消費が押し上げられ、内需が堅調に推移しておりました。しかし、年度後半においては、消費税増税前の駆け込み需要の反動減や、さらに年度末にかけては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて発令された非常事態宣言などにより、国内の経済活動そのものが縮小となりました。

沖縄県においては、年度前半は個人消費が堅調で、民間設備投資・民間住宅投資は底堅く推移し、

観光関連においては入域観光客数が過去最高を更新するなど、インバウンド需要に押し上げられて県経済は順調に推移しておりました。しかし、日本国内同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、年度末から2020年度にかけては非常に厳しい状況が続いております。

2020年度は当行の第18次中期経営計画の3年目、最終年度にあたる年であり、本中期経営計画の目標達成に向けた集大成の年となります。地域とともに成長する県内唯一の総合金融サービスグループとして、本中期経営計画で掲げる4つの基本戦略である「総合力の発揮」「共通価値の創造」「経営資源の配分」「働き方改革」を実現させてまいります。

しかしながら、2020年度につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて資金繰りが厳しくなっている事業者のお客さま、そして個人のお客さまへの支援を最優先に考え、真摯かつ適切に、そして迅速に取組んでまいります。特に中小零細企業の割合が9割を超える当県においては、新型コロナウイルス感染症による影響は非常に大きいと考えられます。「地域に密着し、地域に貢献する」という経営理念のもと、全役職員一丸となって地域のお客さまをしっかりと支えていきたいと考えております。

そして、今後はウィズコロナ・アフターコロナを見据えたソリューションの創出・提供が、地方銀行に求められていると考えております。そこで当行では、さらなる支援を目的に「沖縄みらい元気応援室」を新設いたしました。販路拡大や事業承継など、お客さまのニーズに即したソリューションの提供に取組み、お客さまとともに、沖縄の“みらい”を元気にしてまいります。

また、地域経済の持続的な発展および社会づくりに資する取組み強化を目的に、2019年度より国連の提唱するSDGsの達成に向けた取組みを積極的に展開しております。2020年度はこれをさらに推し進め、立案していく各施策すべてにSDGsの目線を取り入れていく予定です。当行の取組みが地域創生、地域活性化の一助になるように、グループ全体で取組んでまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも引き続き格別のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

取締役頭取

山城 正保

## CONTENTS

### 2 新型コロナウイルス感染症への対応

### 4 おきぎんのビジョン

### 6 キャッシュレスをもっと身近に!

### 10 ICTを活用した業務効率化

### 12 銀証連携によるお客さまの資産形成

### 14 沖縄を元気に! 持続可能な社会の実現

- 16 地域経済との共創
- 22 地域社会との共創
- 25 地球環境との共創
- 26 ダイバーシティとの共創

### 27 コーポレート・ガバナンス

### 28 【2020年3月期】 業績ハイライト(単体)

皆さまと沖縄銀行をつなぐ情報誌「おきぎんレポート」(ディスクロージャー誌)では、当行の取組みとともに、沖縄の「今」をお伝えします。ぜひ、ご覧ください。

2020年3月期の詳細な財務データなどは、「ディスクロージャー誌2020(資料編)」をご覧ください。

# 新型コロナウイルス感染症への対応

沖縄銀行では、現在、新型コロナウイルス感染症による影響を受け、資金繰りが厳しくなっている事業者のお客さま、そして個人のお客さまに向けた、新規のご融資や貸付条件の変更などを最優先で行っています。同時に、地域の金融インフラとして、お客さまの利便性の確保や金融サービスの維持、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた事業者のお客さまへの継続的な支援に取り組んでいます。

## 店舗における感染防止対策

お客さまおよび当行職員の健康と安全を最優先として、店舗における新型コロナウイルス感染症拡大の防止に取り組んでいます。お待ちいただく際にご利用いただく椅子の間隔確保のための貼り紙や、ATMなどにお並びいただく際に前後の方との間隔確保のための床面への位置表示、

消毒液の設置、窓口やブースなど対面箇所への透明スクリーンの設置、職員のマスク着用など、感染防止対策を徹底してお客さまをお迎えします。また、当行のWebサイトやアプリからも各種手続きが可能です。感染防止のためにも、ご利用くださいますようお願い申し上げます。

### Webサイトやアプリで対応可能な主な手続き(2020年8月31日現在)

- 1 残高照会: おきぎんeパートナー(個人・法人)、Wallet+、おきぎんSmart
- 2 資金送金: おきぎんeパートナー(個人・法人)、おきぎんSmart
- 3 投信照会、購入、解約: おきぎんeパートナー(個人・法人)
- 4 口座開設、ローン申込み: おきぎんアプリ
- 5 JCBデビットカード申込み: 当行Webサイト
- 6 「おきぎんStarPay」申込み: 当行Webサイト

## 業務継続のための感染防止対策

業務継続のため、職員同士の接触の機会を減らすなど、業務における感染防止に取り組んでいます。通常業務の遂行では、在宅勤務の推進、出勤者のマスク着用、頻繁な手洗いなどの予防措置を徹底、グループチャットツール(詳しくはP11)

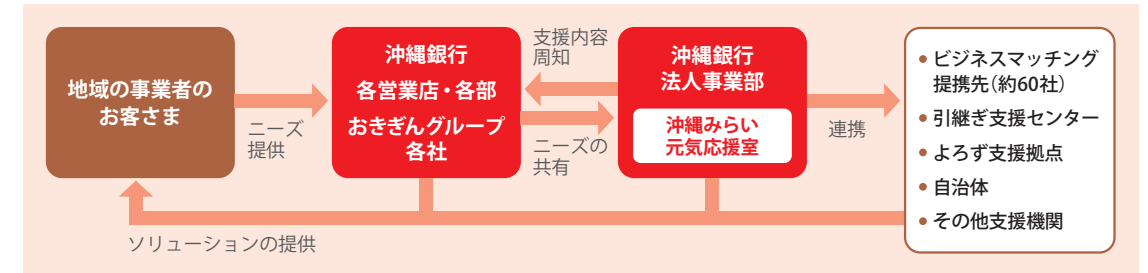
やWebサイトを活用した会議・研修などの対策を実施しています。また、状況に応じて、職員の2交代制での営業や、昼休み休業を導入するなど、安定的な金融サービスの維持に努めています。

## 「沖縄みらい元気応援室」の新設

2020年6月、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者のお客さまへのさらなる支援を目的に、「沖縄みらい元気応援室」を新設しました。ウィズコロナ・アフターコロナを見据えて、ファイナンスによる支援だけでなく、当行のサービス、ソリューション(詳しくはP16)などを活用した支援に取り組んでいきます。ビジネスマッチングの提供をはじめ、非対面による販路拡大やさ

らなる働き方改革への取組み支援など、デジタルトランスフォーメーション(DX)へ向けた企業内改革のサポートをより一層強化します。当行は今後も地元 roots 地域金融機関として、地域の皆さまとともに沖縄の「みらい」を元気にするため、事業者のお客さまのニーズや課題の解決と一緒に全力で取り組んでまいります。

### 活動イメージ



### 主な支援内容

- M&A、事業承継 ■ ビジネスマッチング
- 人材紹介 ■ 出資 ■ 劣後ローン等の対応
- 非対面チャネル構築 など

今回新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けていると思慮される、観光業、医療業、飲食・宿泊・運輸・小売・生活サービス・娯楽などの事業者さまについては特にサポートを強化していきます。

### 県産品消費応援プロジェクト

「沖縄みらい元気応援室」は、当行の役職員約2,500名を対象に、行内グループウェアを活用し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者さまの県産品を簡単な手続きで購入して応援するプロジェクトを立ち上げました。消費拡大の一助となるよう取組みを推進していきます。



# お客さまとともに 未来を創る – Create the Future –

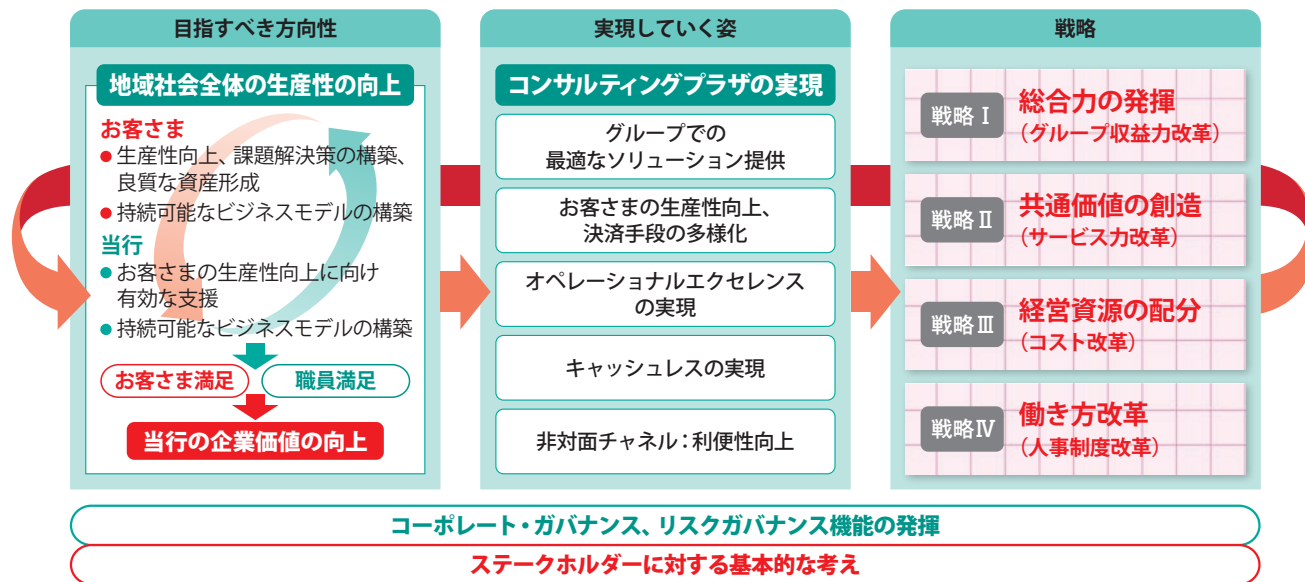
第18次中期経営計画では、新たな発想で、事業領域の拡大やおきぎんグループの総合力によるサービスの拡大を図り、地域社会の発展に寄与することを大きな使命としています。そして、お客さまとともに新たな価値を創造する総合金融サービスグループを目指します。

## 第18次中期経営計画の目指すべき方向性

【目指すべき姿】 先進的なICTを活用した地域とともに成長するおきぎんグループ

ICTを活用したデジタルトランスフォーメーションのサポートにより、お客さまの利便性の向上を図るとともに、アナログ(Face to Face)との融合を図ることで、カスタマーエクスペリエンスを実現し、地域とともに成長する地域No. 1バンクの実現

### おきぎんグループSDGsへの取組み



### 経営数値目標

	経営数値	2020年3月期実績	2021年3月期目標
収益性	連結当期純利益 ROE*	3.77%	4%程度
	コア業務純益	81億円	75億円程度
	コアOHR	72.7%	70%程度
成長性	法人メイン先数	8,383先	約8,000先
	個人メイン先数	336,029先	約350,000先
健全性	開示債権比率	1.22%	1%程度
	自己資本比率	9.91%	9%台

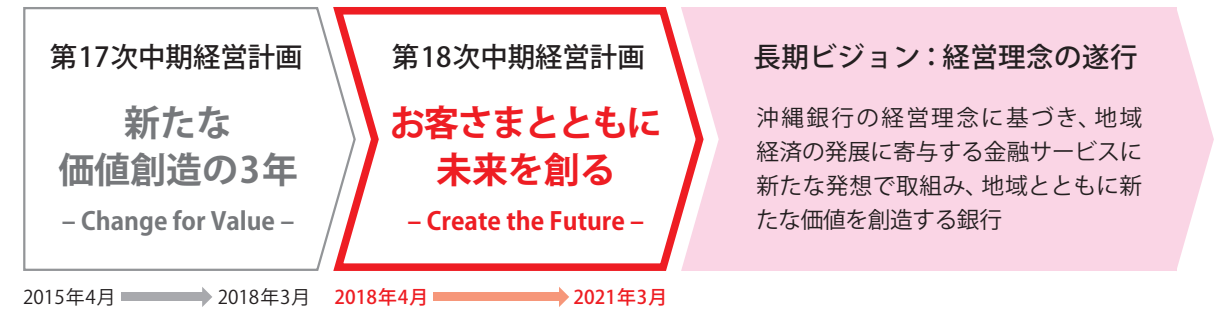
\*連結当期純利益 ROEは株主資本ベース。

お客さま満足度を高め、当行のお取引先数を拡大することで、着実な経営基盤を構築します。

**法人メイン先**  
SR先+準SR先  
(継続的に訪問する先  
+貸出金平残500万円以上)

**個人メイン先**  
住宅ローン、給振口座、  
年金口座のいずれかの契約先

## 経営戦略と長期ビジョン



ルールベースとプリンシプルベースの実践

**戦略Ⅰ 総合力の発揮 (グループ収益力改革)** 詳しくは ▶ P12-13  
おきぎんグループ全体で連結を強く意識し、連結による収益力強化  
① 総合金融サービス業(銀行・リース・証券・クレジットカードなど、お客さまの利便性向上)の強化  
② グループ企業の業務の見直しなどにより、収益力強化を図る

**戦略Ⅱ 共通価値の創造 (サービス力改革)** 詳しくは ▶ P6-9  
FinTech・ICTによる新たなサービス(簡単・便利・オトク・安心)の提供とさらなる業務革新を図る  
① 商品・サービスの改革を図り、お客さまから支持を得る  
② 業務プロセスの改革を図り、業務の見直しによるお客さま・営業店の支援を図る

**戦略Ⅲ 経営資源の配分 (コスト改革)** 詳しくは ▶ P10-11  
経営資源の有効配分、コスト意識の醸成(費用対効果の検証)  
① 従来型の店舗戦略や渉外活動の革新を図り、デジタル投資へ資源配分を図る  
② 営業店や成長分野への人的リソースの有効配置

**戦略Ⅳ 働き方改革 (人事制度改革)** 詳しくは ▶ P26  
真の従業員満足を実現するために、働き方改革を実現し、生産性向上を図る  
① 人事制度の見直し  
② 高品質人材(コンサルティング能力の向上、良質な資産形成に寄与)

ガバナンス機能の発揮による戦略の着実な遂行

## 中期経営計画

戦略Ⅱ 共通価値の創造  
(サービス力改革)

# キャッシュレスを もっと身近に!

沖縄銀行では、第18次中期経営計画において、「先進的なICTを活用した地域とともに成長するおきぎんグループ」を目指すべき姿とし、その取組みの一つとして沖縄県におけるキャッシュレス化の促進を図っています。

沖縄銀行は、ご提供を開始した「OKI Pay」、「おきぎんStarPay」について、新たなサービスや決済ブランドの追加などに積極的に取組み、利便性の向上を図っています。また、キャッシュレスをご体感いただくきっかけをご提供するイベントの開催や、新たなアプリの開発・ご提供など、国、沖縄県が推進するキャッシュレス比率の向上への貢献に努めています。2019年5月には当行が単独で開発したスマートフォン専用アプリ「おきぎんSmart」(詳しくはP9)のご提供を開始するとともに、通帳不発行の推進にも取り組んでいます(詳しくはP25)。アプリのご提供については、引き続き、バンキング機能や付加価値をご提供する機能など、お客さまのご利用シーンに応じた機能の追加や強化、統廃合を進めると同時に、お客さまの利便性向上を図るべく、シンプルで簡単な操作性を目指し、複数のアプリで体系的にお客さまをサポートできるよう努めます。

新型コロナウイルスを想定して厚生労働省が公表した「新しい生活様式」においても電子決済の利用が示され、より一層のキャッシュレスの浸透が期待されます。当行は今後もICTや金融テクノロジーを活用することで、地域に貢献する新たな金融サービスのご提供に取り組んでまいります。

沖縄銀行  
デジタル事業部  
ペイメント事業グループ  
瀬口 麻野



デザインをリニューアル!



「OKI Pay」のアプリアイコン、アクセプタンスマーク(ロゴステッカー)のデザインをリニューアルしました。リニューアルしたデザインは、当行のシンボルマーク「カトレア」を用い、当行の決済サービスであることがよりわかりやすいデザインとなっています。

## 個人ユーザーさま向けスマホ決済サービス



「OKI Pay(オキペイ)」は、沖縄銀行に口座をお持ちの個人のお客さま(個人ユーザー)がスマートフォンに表示したQRコードを、事業者さま(加盟店)が読み取ることで決済が完了する現金やクレジットカードなどを利用しない決済サービスです。2020年3月には(株)ジェーシービーが展開するコード決済スキーム「Smart Code」™との連携を、4月にはトヨタ自動車(株)など3社が展開するスマホ決済アプリ「TOYOTA Wallet」との提携をそれぞれ開始するなど、新たなサービスを追加しています。

## 事業者さま(店舗)向けマルチ決済サービス



「おきぎんStarPay」は、当行が提供する事業者さまの店舗向けサービスで、複数のQRコード決済サービスを一つに集約できる決済プラットフォームであり、「一つのアプリ」で複数のQRコード決済に対応できるマルチ決済システムです。「OKI Pay」のほか、「WeChatPay」「Alipay」「LINE Pay」といった、国内外で利用が広まる3つのQRコード決済ブランドの取り扱いを皮切りに、2019年9月からは新たに、「au PAY」「PayPay」が追加され、決済ブランドが広がっています。

## 「LINE Pay」「メルペイ」「PayPay」と提携

沖縄銀行では、スマートフォン決済アプリ「LINE Pay」「メルペイ」「PayPay」との連携を開始しました。連携開始により、当行の口座からそれぞれのアプリへのチャージが可能となりました。



## キャッシュレス普及に向けた取組み

沖縄銀行は、イベントやキャンペーンの開催、新たなアプリのご提供など、キャッシュレス普及に向けたさまざまな取組みを展開しています。

イベントを  
開催!

### キャッシュレスの利便性を体験

より多くの方にキャッシュレスの利便性を体験いただき、QR決済サービスへの理解を深めていただく機会として、OKI Payご利用によってお得になるイベントを企画・開催しました。

#### Payバル\*

2019年9月6日に、バルをコンセプトとしてお食事、スイーツ、ドリンクなどを食べて飲んで楽しんでいただけるイベント「Payバル」を開催しました。

\* 沖縄セルラー電話(株)と共催。

#### うまいもんPay

2019年12月3日に、ビジネスコンテスト「X-Tech Innovation」(P17)の開催記念イベントとして、本コンテスト開催地区である、北海道、東北、福岡、沖縄の郷土料理をご提供する「うまいもんPay」を開催しました。

### 合言葉は“おきぎんキャッシュレス”

若い世代の日常を通じて、キャッシュレスの利便性、お財布や現金も持ち歩かない手軽さなどをアピールする、テレビCMを制作しました。“おきぎんキャッシュレス”が合言葉です!

 **OKI Pay**



### 口座確認も送金もスマートに おきぎん Smart

沖縄銀行  
デジタル事業部  
ペイメント事業グループ  
尹 逸



「おきぎんSmart」は、当行に口座をお持ちのお客さまがスマートフォンの画面上で、預金残高や入金明細、お借入の残高や返済予定の状況などを簡単に確認できる無料のアプリです。また、ご自身の口座間での振替や「お友達登録」された方への送金のほか、通帳不発行口座への切替、住宅ローンの一部繰上返済等の手続きも行えます。

今後も新たな機能を追加し、アプリの利便性の向上を図っていく予定です。

新アプリ  
登場!

おきぎん  
Smart



#### おきぎんSmartの機能

##### POINT 1 残高表示

- ・お取引をリアルタイムに反映
- ・カードローンや住宅ローンなどのご融資残高を把握

##### POINT 2 明細表示

- ・ご預金の入金明細を自由に書き換え
- ・ご融資の返済状況や引き落とし後の残高も確認できます

##### POINT 3 資金移動

- ・ご自身の口座間での振替(1日10万円まで)
- ・「お友達」登録で2回目以降の送金が簡単(1日3万円まで)

##### POINT 4 一部繰上返済

- ・簡単操作で手軽に返済予約、ご融資残高も把握
- ・お取引内容をリアルタイムに反映



#### 「おきぎんSmart」で募金!

沖縄銀行の経営理念である『地域密着・地域貢献』や『おきぎんグループSDGs宣言』に合致する活動や団体に対して、「おきぎんSmart」内で募金を行える機能の提供を開始しました。募金方法は、1回ごとに募金を行う方法のほか、毎月定額募金を自動で行うことも可能です。

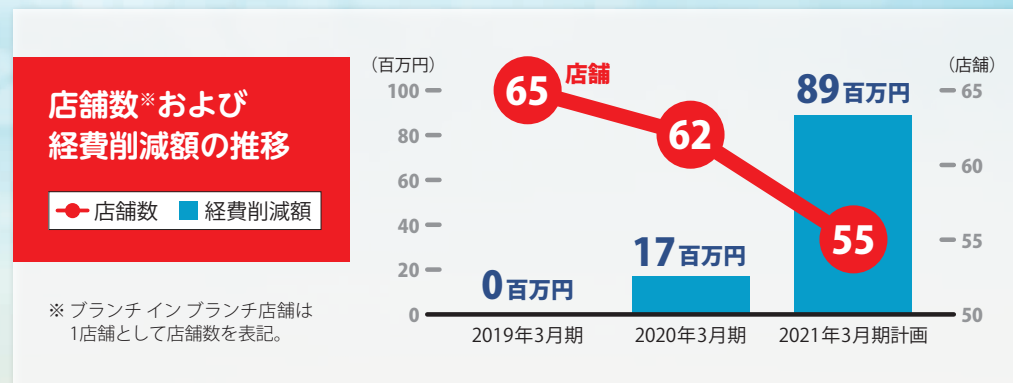
● **募金受入れ団体 にじの森文庫** 詳しくは ▶ P18-19

## 中期経営計画

戦略Ⅲ 経営資源の配分  
(コスト改革)

# ICTを活用した 業務効率化

沖縄銀行では、第18次中期経営計画において、経営資源の有効配分やコスト意識の醸成を図るため、ICTを活用した業務効率化に取り組んでいます。



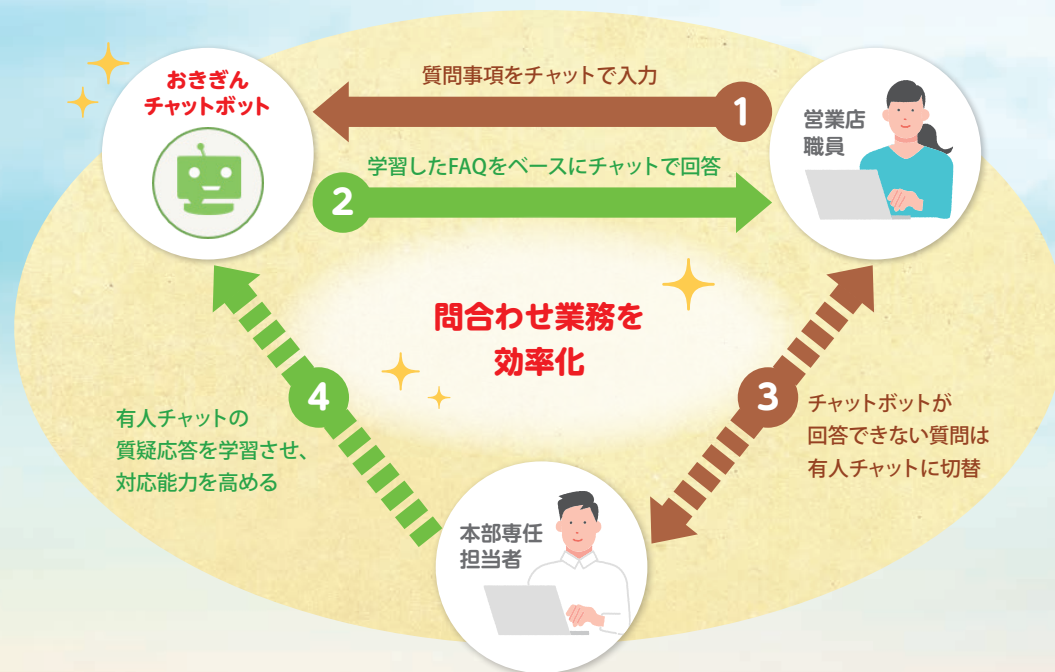
沖縄銀行  
業務革新部  
慶田盛将

沖縄銀行  
業務革新部  
美差正卓

沖縄銀行では、経営資源の配分の見直しとコスト改革を図るため、マーケット分析に基づき、店舗内店舗方式(ブランチインブランチ)による店舗統廃合を実施し、経費削減と成長マーケットへの人員配置を推し進めるとともに、業務革新による生産性向上に取り組んでいます。中でも、ICTを活用した業務効率化では、AI(人工知能)を搭載したロボット「おきぎんチャットボット」や、グループチャットツール「Teams」を導入し、主に、営業店と本部間での問合わせ業務や会議・小規模ミーティングの効率化を図っています。当行では、営業店、本部などそれぞれで定型業務の効率化を継続して推進し、より充実したサービス・商品のご提供を目指していきます。

## 自動会話ツール「おきぎんチャットボット」

「おきぎんチャットボット」は、“チャット”と“ロボット”を組合わせた言葉で、チャット形式の問合わせに対してAIを搭載したロボットが回答する自動会話ツールです。沖縄銀行では、これを導入し、各営業店から本部の専任担当者へ寄せられる「問合わせ」と本部からの「回答」を学習させ、回答業務の一部をロボットで対応しています。これにより、本部職員の業務効率が向上するだけでなく、営業店においても、いつでも問合わせが可能となり、業務時間の有効活用にもつながっています。



## グループチャットツール「Teams」



「Teams」は、タブレットからチャットやテレビ電話が利用でき、資料を相手側のタブレット画面に映して説明することができるコミュニケーションツールです。沖縄銀行ではこれを導入し、営業店と本部の専任担当者との連携に利用するほか、テレビ会議を活用し、移動時間の負担軽減や外出先からの参加など会議方法を多様化して、迅速な情報連携による業務効率化を図っています。

# 銀証連携による お客さまの資産形成

おきぎんグループでは、沖縄銀行とおきぎん証券による県内唯一の銀証連携を通じて、総合金融サービスの充実に取組み、お客さまの資産形成に貢献してまいります。

① 沖縄銀行

× おきぎん証券

沖縄銀行  
営業推進部  
預り資産統括グループ  
鎌田 康弘

沖縄銀行  
営業推進部  
預り資産統括グループ  
新垣 真奈美

沖縄銀行は、第18次中期経営計画の戦略の一つとして、「総合力の発揮(グループ収益力改革)」を掲げ、おきぎんグループ全体で連結を強く意識して収益力強化に取り組んでいます。中でも、当行とおきぎん証券は、県内唯一の銀証連携として、これから将来に向けて資産形成をスタートされる方から、まとまった資金をより有効に運用したい方まで、お客さまのそれぞれのライフステージやニーズに合った資産形成のご提案に取り組んでいます。2019年10月からは、おきぎん証券の営業員の約半数を紹介業務の専担者として任命し、当行の県内56店舗の店頭を窓口として、おきぎん証券を紹介する仲介業務を展開しています。身近な存在である地域の銀行が有価証券投資の窓口として機能していくことで、お客さまの利便性の向上を図ります。

当行とおきぎん証券は、今後さらに多様化・高度化すると予想されるお客さまニーズにお応えするため、銀証一体を強みとし、サービスの拡充に努めてまいります。



質問に  
お答えします!

## 銀証連携



「銀証連携」をもっとご活用いただくため、お客さまからいただいたご質問をQ&Aでご紹介します。

### おきぎん証券ってどんな会社?



2017年3月よりおきぎんグループの一員になった沖縄県内唯一の地元証券会社です。金融商品を通じて、お客さまの資産形成をお手伝いしている会社です。

### 銀証連携って何?



沖縄銀行が窓口となって資産運用にご興味のあるお客さまへ、おきぎん証券の担当者をご紹介します。銀行と証券会社が一体となり、それぞれの強みを活かした付加価値の高いサービスや専門的なアドバイスをご提供することで、お客さまのさまざまな運用ニーズにおきぎんグループでお応えします。



### 銀証連携にはどんなメリットがある?



銀証連携により、銀行で取り扱いのない国内外の株式や外国債券など、幅広い商品の提供が可能となり、お客さまの資産運用の選択肢が大きく広がります。





# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 沖縄を元気に！ 持続可能な社会の実現

### SDGs達成への貢献

沖縄銀行は、国連の提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」の趣旨を経営戦略の軸に組み込み、2019年3月に「おきぎんグループSDGs宣言」を制定しました。「経営理念」や「沖縄銀行のCSR(社会的責任)宣言」と特に親和性の高い4つの項目を重点推進項目とし、グループ全体で持続可能な地域社会の実現に向けた取組みを推進しています。重点的な取組みについては、16ページ～26ページでご紹介していますので、ぜひご覧ください。この世界的な目標達成のために、個々の企業ができることには限りがあります。当行は、ステークホルダーの皆さまと問題意識を共有し、連携して取組むことで幅広いインパクトを生み出していけるものと考えています。より一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



沖縄銀行  
総合企画部  
経営企画グループ  
SDGs担当  
鈴木 涼子

### 「おきなわSDGsパートナー」に登録されました！

沖縄銀行は、沖縄県SDGs推進方針に基づき沖縄県が募集する「おきなわSDGsパートナー」に登録されました。「おきなわSDGsパートナー」とは、「SDGsの達成に向けた取組みを行うとともに、県民に向けたSDGsの普及啓発活動を行う企業・団体」です。当行は「おきなわSDGsパートナー」への登録を通して、今後とも地域社会・すべてのステークホルダーの方々との連携を深め、持続可能な社会の実現を目指してまいります。



## おきぎんグループ SDGs宣言

総合金融サービスグループのおきぎんグループは経営理念である『地域密着・地域貢献』を実践することで、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献し、地域社会、全てのステークホルダーと持続的な未来を創造し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

株式会社 沖縄銀行 頭取 山城 正保

### おきぎんグループの重点的な取組み

関連ページ ▶ P16-

#### 地域経済との共創

- 地域経済の持続的な発展には、地域における事業者の皆さまの事業の継続性が重要であるとの認識のもと、事業者の課題解決を図るとともに、生産性向上を図り、持続的な社会の実現を目指してまいります。
- 地域経済の持続的な発展には、お客さまの良質な資産形成が必要との認識のもと、お客さまの金融リテラシーの向上を図ることで持続的な社会の実現を目指してまいります。



関連ページ ▶ P22-

#### 地域社会との共創

- 健康応援バンクとして、地域社会が健康になることで、地域社会との共創を図ってまいります。
- 次世代の地域社会を担う子どもたちの活力ある未来の実現に向け、金融教育、地域活動を通じて、地域社会との共創を図ってまいります。
- 地域社会の社会福祉の発展に貢献することで、地域社会との共創を図ってまいります。



関連ページ ▶ P25

#### 地球環境との共創

- 環境に優しい地域社会づくりに貢献することで、地球環境との共創を図ってまいります。
- 環境に優しい経営を行うことで、地域のお客さまのワンダフルライフを実現し、地域環境との創造を図ってまいります。



関連ページ ▶ P26

#### ダイバーシティとの共創

- 人権や多様性を尊重し、すべての人が仕事も生活も充実させ自分らしく活躍できる、共創できる社会づくりに貢献してまいります。
- 地域経済、地域社会、地球環境との共創する能力が発揮できる生きがい、働きがいのある職場をつくり、ダイバーシティとの共創を図ってまいります。





重点的な  
取組み

## 地域経済との共創

事業者のお客さまへの必要な資金の供給・経営支援に、迅速かつ積極的な金融仲介機能を発揮するとともに、課題・ニーズに応じたソリューションの提供を通じて、地域経済との共創を図っています。

地域経済の持続的な発展には、地域における事業者の皆さまの事業継続が重要です。沖縄銀行は、第18次中期経営計画において、「地域社会全体の生産性の向上」を目指すべき方向性とし、お客さまの生産性向上に向けた有効な支援、持続可能な

ビジネスモデルの構築を通じた当行の企業価値向上を図っています。創業から事業承継に至るライフステージにおいて、当行をご活用いただくことで課題解決につながるよう、さまざまなサービス、ソリューションの提供に取り組んでいます。

### 事業者のお客さまのライフステージに応じた各種サービス、ソリューション

ステージ	お客さまの課題・ニーズ	おきぎんグループのサービス、ソリューション
創業期	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業・新規事業資金</li> <li>事業計画策定支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画策定支援、総合支援資金</li> <li>リース</li> <li>ファンドの活用による支援</li> <li>決済の利便性</li> </ul>
成長期～安定期	<ul style="list-style-type: none"> <li>販路拡大支援、ビジネスマッチング</li> <li>生産性向上、収益力強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CIPS*による事業の見える化と課題解決</li> <li>ビジネスマッチング</li> <li>バックオフィスの合理化</li> </ul>
低迷期	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営改善計画策定支援</li> <li>資金繰りの安定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善計画策定支援、外部機関の積極的な活用</li> <li>資本性劣後ローン(DDS)</li> </ul>
再生期	<ul style="list-style-type: none"> <li>M&amp;A、事業承継</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>M&amp;A支援</li> <li>外部機関を活用した抜本的な事業再生</li> </ul>

※ お客さまのライフステージに応じたコミュニケーション強化を実現するための事業計画策定支援システム



#### M&Aシニアエキスパート

「M&Aシニアエキスパート」は中小企業の友好的M&Aを支援する専門家としてのスキルを認定するM&A資格です。当行は152名の有資格者をフルに活用し、M&A、事業承継をはじめ、事業者さまの課題解決に取り組めます。



#### 人材紹介サービス

当行は、2020年6月から人材紹介業務を開始しました。事業者さまの求める「経営幹部人材」「専門技術人材」など人材に関する課題解決の支援に取り組めます。



X-Tech Innovation 2019は、沖縄銀行、ふくおかフィナンシャルグループ、北海道銀行、七十七銀行が共同で主催し、デジタルテクノロジーを用いたサービス・アイデアを募集するビジネスコンテストです。沖縄地区選考会で最優秀賞を受賞した(株)Z-Works開発の「ライブコネクト」が、全国4地区の代表8先が一堂に会して東京で開催されたグランプリファイナルで、最高賞となる最優秀賞を受賞しました。

沖縄の「介護現場」をもっと元気に!

### 科学的介護支援システム「ライブコネクト」

Z-Worksが開発した「ライブコネクト」は、最先端センサーとAI技術を活用した介護支援システムです。居室内に設置した複数のセンサーで入居者の離床、心拍数・呼吸数や、ドアの開閉状況・室温などを検知し、介護現場全体の状態をリアルタイムに可視化して、ケアステーションのモニタなどの画面に表示します。これにより、訪室回数の削減による業務効率化や離床検知による事故防止、データを活用したケアの改善や入居者のQOL向上、さらには今後の感染症対策となる接触機会の軽減効果も期待できます。居室内のセンサー設置には工事が不要で、入居者の身体への装着も不要です。また、パソコンやWi-Fiネットワークも不要で、導入や運用にかかる負担を軽減します。同社の小川代表は、自身も介護の経験者として介護者の目線に立ちながら、今後も“便利でわかりやすい”システムの開発・普及を目指します。

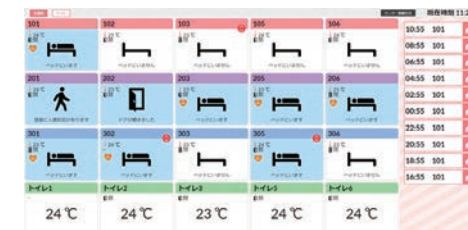
沖縄銀行は、深刻化する介護人材不足の課題解決に貢献するため、県内の介護事業者さまと当システムのマッチングに取り組んでいます。当行は今後も、事業化支援や県内企業さまとのマッチング機会の提供などを通じて、沖縄とともに成長するオープンイノベーションの促進に取り組んでいきます。



(株)Z-Works 代表取締役社長 小川 誠氏(右)、(株)Z-Works 事業企画本部長 高橋 健一氏(左)

#### 介護支援システム「ライブコネクト」の仕組み

- 1 居室内に設置した複数のセンサーで状況を検知
- 2 要介護度、自立度合いなど、入居者ごとの状態を考慮したうえで異常を判別・通知
- 3 ケアステーションのモニタや共用部のテレビへ状況や異常を表示。スマホ通知も可能



画面表示では、居室ごとの入居者の状況のほか、センサーの稼働状況なども確認できます。

画面表示例



## 県内の強いネットワークを活かした支援



(左から)沖縄銀行 デジタル事業部 ペイメント事業グループ 津嘉山 敦子、にじの森文庫 館長 金城 辰美氏、NPO法人にじのはしファンド 代表理事 糸数 未希氏、沖縄銀行 大道支店兼 松城支店 支店長 大城 直昭

沖縄銀行は、2020年3月、子ども食堂「にじの森文庫」を運営するNPO法人にじのはしファンドと「連携・協力に関する協定書」を締結しました。当行の持つ県内の強いネットワークを活かし、地元根に根ざす地域金融機関として地域活性化への貢献を果たしていきます。



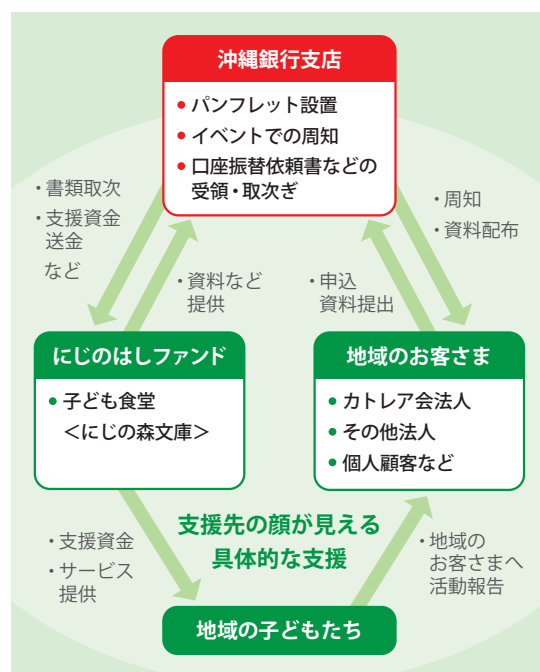
活動報告やイベント告知のために毎月発行している「にじの森文庫通信」。子どもたちのご家族やご支援いただいている地域の方々とのコミュニケーションツールにもなっています。

### 沖縄の子どもたちをもっと元気に！ 子ども食堂「にじの森文庫」

沖縄県那覇市松川に、2016年9月、地域に根ざした運営をコンセプトとした子ども食堂「にじの森文庫」が開設されました。同施設は子ども図書館をメインとしながら、共働きや一人親世帯の子どもが一人で食事をする「孤食」の問題を一緒に解決するため、子ども食堂を併設しています。「子ども食堂＝貧困家庭の子が行く」というイメージを取り除き、すべての子どもたちへ利用の機会を広げるため、在住地域や家庭環境などの利用条件は設けず、子どもたちが安心して過ごせる“居場所”になることを目指しています。

館内には、多くが寄贈品だという500冊にのぼる絵本や児童書、漫画のほか、パソコンやWi-Fi環境も整備され、小中学生だけでなく、高校生や大学生など幅広い世代が利用し、世代を超えた交流が進んでいます。中でも子どもたちに人気なのは、毎月行われる映画上映会やイベントで、イベントではお月見のお団子づくりやひな祭りの和菓子づくりなど、自宅ではなかなか体験できないことに挑戦します。館長の金城さんが毎月発行する「にじの森文庫通信」では、こうしたイベン

#### ▶ 連携イメージ



の様子や今後のスケジュールなどをイラストや子どもたちの写真とともに発信しています。当初は地域の学校などへの施設紹介として作成したのですが、子どもたちとご家族、ボランティアやご寄付、食材をご寄贈いただいた地域の方々とのコミュニケーションツールにもなっています。

にじのはしファンド代表の糸数さんが考えるのは、子どもたちが地域とつながりを感じながら育ち、大人になった時に“あの場所があってよかった”と思える場所をつくり、長く運営すること。そのためには、施設が地域に受け入れられ、企業や住民が一体となって子どもたちを支援する“顔が見える支援”の仕組みが必要

です。現在は、主に助成金や館長の金城さんをはじめとするボランティアの力で運営していますが、助成期限が切れた後の財源確保や、安定して持続的に運営できる事業体制の構築が急務です。

沖縄銀行では、支店窓口での資金募集、活動の周知、支援サポーター制度登録に関する事務手続きなどに取組んでいます。また、当行が提供するアプリ「おきぎんSmart」からのご寄付も可能です。当行は今後も、県内の強いネットワークを活かし、地域の企業さまや個人のお客さまと同ファンド、そして子どもたちをつなぐハブとして、“顔が見える支援”の連携・協力に取り組んでいきます。

#### 沖縄県産食品を寄贈

沖縄銀行の取引先である(株)あさひより、観光客の大幅な減少によって生じた賞味期限間近の商品について当行に相談があり、SDGsの観点からにじの森文庫様への寄贈を提案したところ喜んでお引き受けくださいました。寄贈品の沖縄県産濃厚マンゴープリン100個は、にじの森文庫を利用する子どもたちに配布されました。

(左から)沖縄銀行 大道支店兼松城支店 支店長 大城 直昭、(株)あさひ 常務取締役 赤嶺 陽司氏、にじの森文庫 館長 金城 辰美氏、沖縄銀行 田原支店 支店長 仲原 佳史





## ファンドを活用した県内企業への支援

沖縄銀行は、地域に根ざす金融機関として、県内中小企業の経営支援を最も重要な役割の一つであると考えています。2019年度は、出資先企業の経営に直接参画して成長をサポートするハンズオン支援を行うファンドへの出資と新たなファンドの組成による支援を開始しました。

沖縄の **中小零細企業** をもっと元気に!

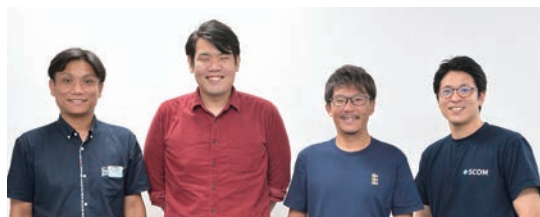
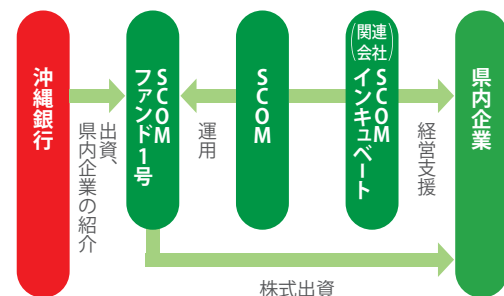
### 中小零細企業に特化「SCOM(エスコン)ファンド1号」

沖縄銀行は、SCOM(株)が運営する「SCOM投資事業有限責任組合(通称「SCOMファンド1号」)」に出資しました。同社は、県内の現役の経営者により設立され、「沖縄で1万人の暮らしを変えていく」をコンセプトに、中小零細企業支援に特化した出資とハンズオン支援を実施します。議決権を持たない株式による出資を特徴とし、ファンド総額は1億円で、10社に対し平均1,000万円の出資を予定しています。対象となるのは、県内で事業を展開し、技術力やサービス力に成長ポテンシャルを有する中小零細企業。ハンズオン支援では、起業や経営を通じて得た知識を活かし、戦略の立案や資金調達、人材活用、マーケ

ティングや財務・会計、IT化など幅広く継続的にサポートし、経営効率化による持続的な収益力の向上を目指します。そして同社が掲げるビジョンは、こうした支援を継続的に行うことにより対象企業で創出された利益が従業員の所得を引き上げ、結果として貧困率や離婚率の低下など沖縄が抱える社会課題の解決に貢献することです。

当行は、同社への出資および地域密着型の金融機関として有するネットワークを活かした企業紹介を通じて県内企業の成長を支援し、地域経済の持続的な発展に貢献していきます。

#### ▶ 連携イメージ



(左から)沖縄銀行 法人事業部 沖縄みらい元気応援室 砂川 恵太、SCOM(株) 取締役 比嘉 良寛氏、SCOM(株) 代表取締役 藤本 和之氏、SCOM(株) 取締役 上間 喜壽氏

沖縄の **中小零細企業** をもっと元気に!

### 沖縄から世界へ「おきぎん未来創造ファンド」

沖縄銀行は、2020年2月、「県内“発”のグローバル企業を育てる」をビジョンに、金融ソリューション事業を行うエステックアセットマネジメント(株)と共同して「沖縄番号投資事業有限責任組合(通称「おきぎん未来創造ファン

ド)」を組成しました(ファンド総額は3億円)。同ファンドでは、県内“発”の企業で、かつ県内外での発展に貢献する企業に成長資金を提供するとともに、ハンズオンにより成長をサポートします。

沖縄の **観光** をもっと元気に!

## 第3回 おきぎん美ら島商談会【観光編】

① 沖縄銀行



MUFG

三菱UFJ銀行



Be a Great Small.  
中小機構



沖縄銀行  
法人事業部  
沖縄みらい元気応援室  
安谷屋 正人

沖縄銀行  
法人事業部  
沖縄みらい元気応援室  
神谷 真吾



沖縄銀行は、2019年6月28日、三菱UFJ銀行、中小企業基盤整備機構沖縄事務所と共催で「第3回おきぎん美ら島商談会【観光編】」を開催しました。商談会では、沖縄観光におけるさまざまなシーンで課題を抱えている県内観光事業者41社と、その課題解決を図るソリューションを提供する県内外の事業者30社が参加し、合計で197件の商談の機会を提供することができました。2020年度については、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から開催時期を調整していますが、当行は今後も、沖縄のリーディング産業である観光産業に携わる事業者のサポートを通じて地域経済の持続的な発展に貢献していきます。

#### 独立行政法人中小企業基盤整備機構より「功労者感謝状」を受贈!

沖縄銀行は、独立行政法人中小企業基盤整備機構より、「功労者感謝状」を受贈しました。これは、これまで同機構の活動と連携しつつ、中小企業・小規模事業者の活躍や地域の発展に顕著な功労をした各地の経営者や地域中小企業支援機関に感謝の意を表することを目的に贈呈されるもので、県内では当行を含め3社が受贈しました。また、金融機関では全国で5行庫が選ばれており、九州・沖縄地区で唯一の受贈となりました。



重点的な  
取り組み

## 地域社会との共創

次世代の地域社会を担う子どもたちの未来に向けたさまざまな取り組みや、沖縄の振興に貢献する方々を助成する「おきぎんふるさと振興基金」などを通じて、地域社会の皆さまとの共創を図っています。

### 「エコノミクス甲子園 沖縄大会」を開催

2019年12月、第14回エコノミクス甲子園 沖縄大会を開催しました。本大会は、高校生がクイズを通して楽しみながら金融経済の仕組みを学び、金融知力を身に付けることを目的とし、時事問題や豆知識など幅広くお金に関する知識を問い、「お金との関わり方」を考えるきっかけをつくります。優勝チームは東京で開催の全国大会に進出しました。当行は、金融機関の責務として、今後も金融経済教育の普及に努めていきます。



### 「チャリティバザー」を開催、収益金を全額寄付

2020年1月、沖縄県の子どもの貧困対策と首里城再建支援に取組む施策として、おきぎんグループによるチャリティバザーを開催しました。本イベントは、当行グループの新入行員・新入社員が運営に参加し、沖縄の子どもの貧困問題に取り組む沖縄県の後援を得て開催されたもので、その収益金は「沖縄県子どもの未来県民会議」、「首里城再建支援」へ全額寄付しました。今後も当行グループの若い力と元気をもって、地域貢献の一環となるような活動を続けていきます。



### 沖縄の高校生応援プロジェクト「ドリスカッ!」を支援

2019年より高校生のキャリア教育支援の一環として、ブルームーンパートナーズ(株)が取組むプロジェクト「ドリスカッ!」のメインスポンサーとなりました。県内の高校生に体験・体感型キャリア教育や海外ステイ、経営実践などのプログラムを通して、将来の職業に対する夢や中長期的なキャリアビジョンを描いてもらうことを目的としています。今後も本プロジェクトの支援を通じ、沖縄の子どもたちの夢と未来を応援します。



## おきぎん ふるさと振興基金

沖縄振興を  
応援!

(公財)おきぎんふるさと振興基金は、健康・環境・教育・福祉・文化などさまざまな分野において、沖縄の振興に貢献する方々を支援する目的で設立され、将来性があると判断される個人・団体・企業などに対して助成を行っています。

2020年度 助成実績

7先  
500万円

助成実績(助成開始以降の累積)

279先  
1億8,220万円

### 【2020年度助成先一覧：テーマ／助成先】

- 環境にやさしい保水性天然ポリマー／沖縄科学技術大学院大学 Narayan Lal Gurjar 氏
- 異年齢集団での教育による学校外教育の可能性を探る／山城塾 山城 勝秀 氏
- 琉球辞令書集成のための基礎的研究／琉球辞令書研究会 麻生 伸一 氏
- 未来へつなぐ記憶の記録／八重山ライブラリー 水野 暁子 氏
- お菓子の袋詰め事業／特定非営利活動法人うりずん 東 宏明 氏
- 「琉球伝統の美」+「音楽×舞×空間」=「高貴なうとぅむち」／沖縄県立芸術大学 山内 昌也 氏
- 「沖縄×台湾 衣食住行記「チュラネシア」ボードレス旅行ノート」の制作／オフィスユニゾン 三枝 克之 氏

### 2019年度の助成プロジェクトをご紹介！

#### 「グスクから出土する琉球銭をつくってみよう！体験教室」

当会は沖縄県立博物館の活動理解を促すことを目的に、常設展示室での展示案内や関連講座の補助などの活動を行っています。この度、初の試みとなる体験学習を企画、世界遺産登録20周年記念特別展「グスク・ぐすく・城」に合わせて実施しました。錫と鉛の合金とシリコン製の鋳型を使い「大世通宝」「世高通宝」「金円世宝」を造る体験学習は、参加者・運営側双方とも満足度の高いものとなり、当会ではこうした体験型学習を次年度以降も継続して実施することが決まりました。

2019年度  
助成先

沖縄県立  
博物館友の会



#### ランチサポートで休校中の児童生徒を励まそう

地域むすびくらは、児童の生活リズムを整え朝食を摂る習慣の定着や、学校への送り出し活動などを行う、宜野湾市のボランティア団体です。新型コロナウイルスの影響で地域食堂「グッドモーニングカフェ」の運営が困難になり、配食による支援活動を3月に開始し、臨時休校が明けた5月末までの間で48回4,777食の配食を実施したほか、不足するマスクの配付なども行いました。当くらは、コロナ禍の影響が広がる中、適切な方法を模索しながら「優しい地域にしていこう」活動を続けていきます。

2019年度  
助成先

地域むすびくらは





重点的な  
取組み

地域社会との共創



## 健康応援バンク

沖縄銀行は、沖縄県の県民一体の健康づくり運動「健康おきなわ21」に賛同する形で2005年に「健康応援バンク」宣言を行いました。以降、おきぎんグループ一体となり、さまざまな取組みを行っています。

### 企業連携で、沖縄の受験生の健康マネジメントを応援！

沖縄銀行は、大塚製薬株式会社、ジュンク堂書店、ジュークタン(運営：カフブランディング)と連携し、「沖縄の受験生の体調マネジメント」を応援する企画を昨年に引き続き実施しました。受験日までの体調管理が大切になってくる

時期に合わせ、当行窓口では、2019年11月22日より県内全店舗で受験料を振り込みされた方先着3,000名さまに、受験生の健康管理をサポートする飲料「ボディメンテ ドリンク」をプレゼントしました。

### 受動喫煙防止への取組み

沖縄銀行は、2009年より屋内完全禁煙を実施するなど、喫煙対策に取り組んでいます。2020年4月1日に施行された改正健康増進法では、オフィスなどにおける原則屋内禁煙が定められましたが、当行はこれをさらに上回る、屋外も含めた敷地内完全禁煙と職員の就業時間内禁煙(当行の敷地内外にかかわらず)の受動喫煙対策を開始しました。このほか、喫煙者への禁煙サポート施策を設けるなど、職員のライフスタイル改善の支援、働きやすい職場環境づくりに取組み、これまで以上にお客さまのニーズにお応えする体制を整えてまいります。

#### 主な禁煙サポート施策

##### ■ 意識改革

- ・禁煙外来医師による講演会の実施
- ・禁煙ワークショップの実施
- ・禁煙成功者体験談の紹介
- ・禁煙参考書の配布 など

##### ■ 補助・報奨

- ・禁煙外来受診希望者に対する治療費補助
- ・自助努力による禁煙成功者に対する報奨金
- ・部課店ごとの取組み表彰実施 など

##### ■ 保健師による個別サポート

### 3年連続！ 「健康経営優良法人2020」に認定

沖縄銀行は、2020年3月、「健康応援バンク」としての取組みが評価され、経済産業省が2016年に創設した「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に3年連続で認定されました。「健康経営優良法人認定制度」とは、保険者と連携し、日本健康会議が進める健康増進の取組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。当行は今後も健康経営の取組みをさらに浸透させてまいります。



2020  
健康経営優良法人  
Health and productivity

重点的な  
取組み

## 地球環境との共創

銀行業務による環境保全活動、環境保全への取組みを支援する商品・サービスの提供や資金の支援など、“環境に優しい”経営・地域社会づくりへの貢献を通じて、地球環境との共創を図っています。

### 通帳不発行による環境保全と地域貢献

沖縄銀行は、口座残高や入金明細などが簡単に確認できるスマートフォン専用アプリ「おきぎん Smart」「Wallet+」のサービスを提供することで、お客さまの利便性の向上や紙の通帳不発行による環境保全への貢献、当行の事務コストの削減に取り組んでいます。

2019年10月からは、通帳不発行で開設された新規口座、または紙の通帳から通帳不発行へ切替された口座1件につき100円を、当行が沖縄県内の貧困対策などの地域貢献活動を行う団体へ寄付する取組みを開始しました。寄付金額が50万円(通帳不発行件数5,000件)に達するごとに支援先を選定し、寄付を行います。これにより、お客さまは通帳不発行とすることで、環境保全と地域貢献に寄与していただけます。当行は今後も持続可能な社会の実現につながる取組みを推進していきます。

紙の通帳に代わる  
スマートフォン専用アプリ



### 第43回全国育樹祭への協賛

全国育樹祭は「継続して森を守り育てることの大切さ」を普及啓発することを目的に、毎年秋に開催されます。春に開催される「全国植樹祭」で天皇皇后両陛下が植木のお手植えやお手まきを行い、秋の「全国育樹祭」で成長した植木に対して皇族殿下がお手入れを行う国民的な緑の祭典です。

沖縄銀行は、2019年12月14日、15日に沖縄県で開催された第43回全国育樹祭へ協賛しました(協賛金100万円)。当行はこの全国育樹祭を通じて、沖縄の森を守り育てることの大切さを伝えていきます。



(中央)沖縄県 環境部長 棚原憲実氏、(左)沖縄銀行 執行役員総企画部長 佐喜真 裕、ほか協賛企業の方々



重点的な  
取組み

# ダイバーシティとの共創

女性活躍の推進、休暇休業制度の見直しなど、すべての人が仕事も生活も充実させて自分らしく活躍できる、生きがい、働きがいのある職場づくりを推進し、ダイバーシティとの共創を図っています。

## 働き方改革による ワーク・ライフ・バランスの実現

### 1. ライフプラン休業の新設

人事制度改革により、従来離職を余儀なくされていた配偶者の転勤への同行や不妊治療に専念するなどのケースに対応する新たな休業制度を設けました。

### 2. 再雇用制度の改定

家族の事情などやむを得ず退職した職員について、再就業の機会を提供することを目的としている「ジョブリターン制度」の適用条件を大幅に緩和するとともに、退職時点の処遇にて再雇用を可能とする制度に改訂しました。

沖縄銀行  
人事部  
働き方改革グループ  
宮城 桂

沖縄銀行  
人事部  
働き方改革グループ  
弓削 茉亜子



## 女性経営級 養成講座の実施

女性活躍を促すダイバーシティ確保への取組みの一環として、経営級を目指す女性行員育成に向けた、研修を開催しました。

- 第1回 ロールモデル4名による体験談およびグループワーク
- 第2回 外部講師による受講者および全支店長対象講演会「女性活躍推進の重要性」
- 第3回 異業種交流研修の実施

## 県内金融機関初！ 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定

沖縄銀行は、女性活躍推進に関する状況などが優良な企業として、2020年1月、厚生労働大臣より「えるぼし認定」を受けました。「えるぼし」は、女性活躍推進法に基づく認定制度で、当行は最上位である「3段階目」の認定を取得しました。また、県内金融機関として初の「えるぼし認定」となります。当行は今後も女性職員を含む多様な人材が活用できる組織を目指し、さまざまな取組みを推進していきます。



# コーポレート・ガバナンス

沖縄銀行は、「おきぎんグループSDGs宣言」の達成に向け、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでいます。

## 指名・報酬委員会の設置

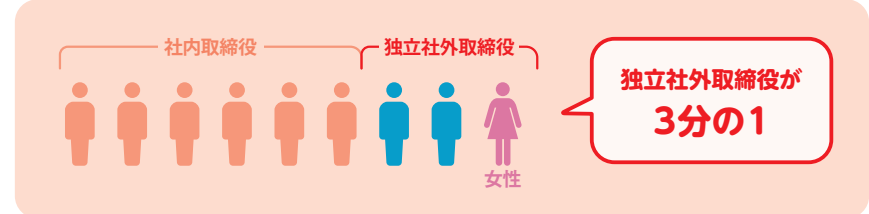
2020年6月、任意の諮問機関として指名・報酬諮問委員会を設置しました。設置の目的は、取締役、監査役の指名・報酬などに係る評価・決定プロセスの透明性・客観性を担保するためです。委員会のメンバーは、取締役会で選定した3名以上の取締役で構成し、過半数を独立社外取締役、委員長を独立社外

取締役としています。委員会では、取締役会の構成、取締役・監査役の選解任、後継者計画、取締役・監査役の報酬などについての審議を行い、取締役会への答申を行います。当行は、これにより、取締役会の監督機能の強化、コーポレート・ガバナンス体制の充実を図ってまいります。

## 取締役会の構成

当行の取締役会は、2020年6月に新たに2名の独立社外取締役を迎え、3名の独立社外取締役を含む9名の取締役で構成しています。新任の独立社外取締役のうち、1名は女性で、当行が第18次中期経営計

画に基づき進めている女性活躍をはじめとした働き方改革に対しても貢献していただけるものと期待しています。



## 政策保有株式の縮減

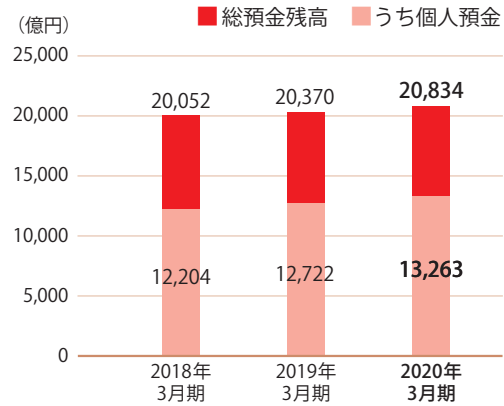
政策保有株式は資本コストなどに照らすとともに、当行が貸出金として運用する際に期待する基準利回りと比較検証し、年に1回、取締役会へ保有意義などを報告しています。報告に基づき、2020年3月期には政策保有株式1銘柄の縮減を実施しました。

### 政策保有株式銘柄数

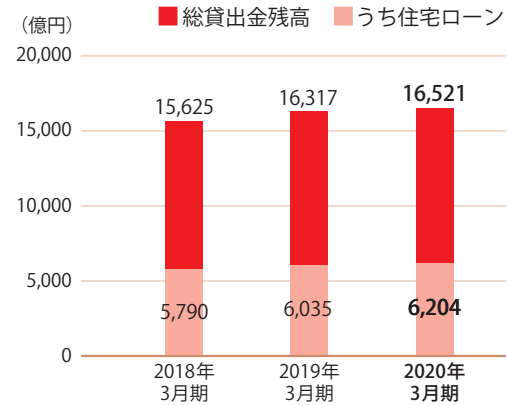
2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
18銘柄	16銘柄	15銘柄

## 2020年3月期 業績ハイライト(単体)

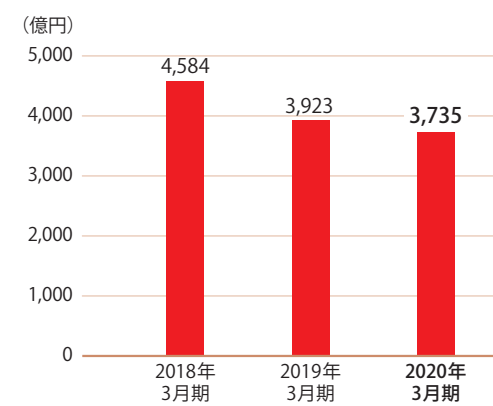
### 預金



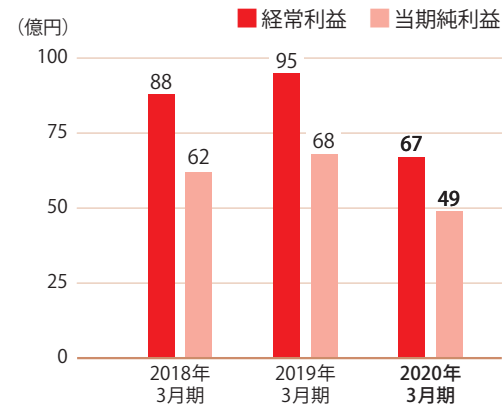
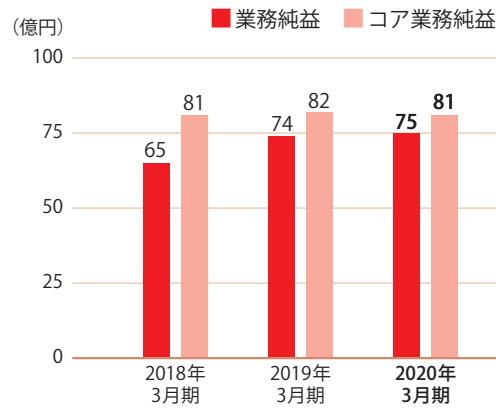
### 貸出金



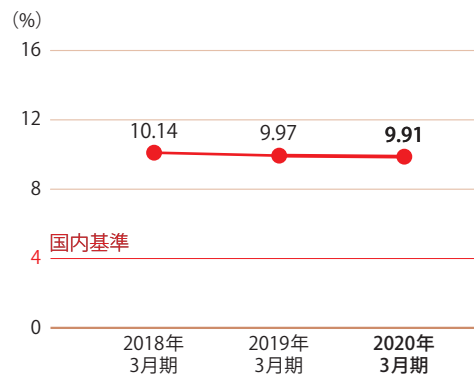
### 有価証券残高



### 損益の状況



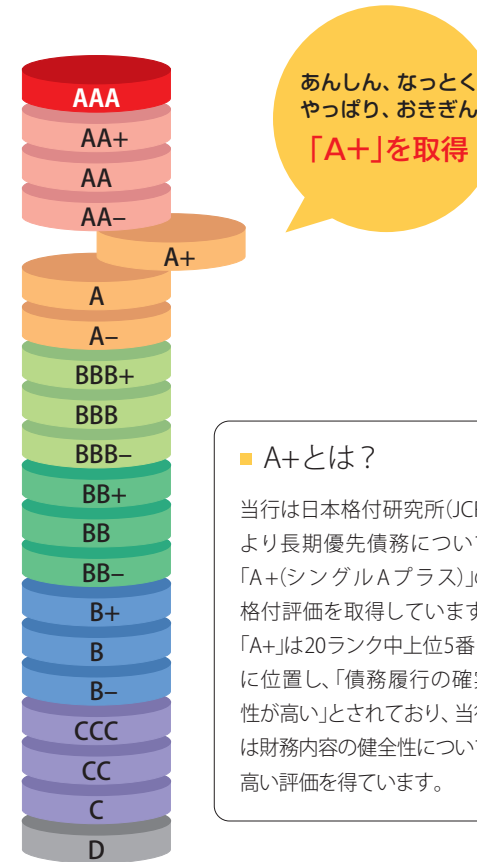
### 自己資本比率



#### ■ 自己資本比率とは？

総資産に占める自己資本の割合で、銀行の健全性を示す重要な指標の一つであり、比率が高いほど安定した経営といえます。なお、海外に営業拠点を持つ銀行は8%以上(国際基準)、当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は4%以上(国内基準)であることが求められています。

### 銀行の財務内容の健全性を評価する「格付」



## 銀行の概要

(2020年3月31日現在)

商号	株式会社 沖縄銀行
設立	1956年6月21日
創業	1956年7月10日
本店所在地	沖縄県那覇市久茂地3丁目10番1号
総資産	2兆2,764億円
預金残高	2兆834億円
貸出金残高	1兆6,521億円
資本金	227億25百万円
自己資本比率	9.91%
従業員数	1,142名
店舗数	65店舗

## おきぎんグループ

- 総合リース業務  
株式会社 おきぎんリース
- クレジットカード業務  
株式会社 おきぎんジェーシービー
- 証券業務  
おきぎん証券 株式会社
- コンピュータ関連業務  
株式会社 おきぎんエス・ピー・オー
- 保証業務  
おきぎん保証 株式会社
- 代行業務  
おきぎんビジネスサービス 株式会社
- 債権管理回収業務  
美ら島債権回収 株式会社
- 金融・経済の調査研究業務、経営相談業務、その他  
株式会社 おきぎん経済研究所



OKI Payを使うと「Wallet+」のmyCoinが貯まる!



# Wallet+ [ウォレットプラス] で myCoinを受け取ろう!



## Wallet+ [ウォレットプラス] とは?

通帳の残高、明細を確認したり、  
目標金額を設定してお金を貯めることができ、  
手軽に楽しくお金と付き合えるアプリです。

スキャンして  
簡単  
ダウンロード



ココからmyCoinを  
確認できます。



## Wallet+の アプリ内でたまる おトクなポイントです。

お支払い額 税込み200円につき1myCoinを付与します。

※myCoinのお受け取りには、お金管理アプリ「Wallet+」のダウンロードと  
普通預金口座(個人のみ)の登録が必要です。  
※OKI Payの利用口座とWallet+のメイン口座が同じであることが条件となります。



## my Coinってどうやって使うの?

1 myCoinを使う

### Wallet+の貯蓄預金に キャッシュバック

Wallet+のmyCoin画面から  
貯蓄預金にキャッシュバック  
(1myCoin=1円)を  
行うことができます。

2 myCoinを使う

### 他社ポイントへの 交換

Wallet+のmyCoin画面から  
提携する各ポイントサービスに  
交換できます。

3 myCoinを使う

### my Coinを 送る・もらう

Wallet+のmyCoin画面から  
myCoinを友人などに  
送る、またはもらうことができます。

PEOPLE'S BANK

① 沖縄銀行

OKI Payは以下のマークのあるお店でもご利用可能!

銀行 Pay ゆうちょPay Smart Code

●発行: 2020年8月 ●編集: 沖縄銀行 総合企画部 沖縄県那覇市久茂地3-10-1 Tel. 098-869-1253

本誌の原材料調達・印刷・流通に伴うCO<sub>2</sub>排出量1.383t(173g/1冊)は、沖縄県内事業者が創出したJ-クレジットでカーボン・オフセットいたします。

